

## 第5学年音楽科学習指導案（略案）

○組 計40人  
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 合唱のひびき  
 教材 「星の世界」 川路柳虹作詞 コンバース作曲（本時主教材）  
 ◎ 滝廉太郎の歌曲

2 本時（1／5）

(1) 目標

- ア 発声や姿勢、正しい音程に気を付けながら、豊かな響きの歌声で歌詞唱することができる。  
【知識及び技能】
- イ 星空の美しい様子を思い浮かべ、その様子と美しい歌声とを結び付けることができる。  
【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の展開に当たって

- イメージしたことを歌声に表現することができるような学習内容の設定（☆）
- そんな歌声になっているかを子供が学び合い、チェックできるような学習活動の設定（★）

(3) 実際

過程	主な学習活動	時	○教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 星空の様子について、知っていることや感じていることを話し合う。 ・ きれい。 ・ たくさんの星座がある。 2 「星の世界」の範唱を聴き、本時のめあてについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">                         星空のきれいな様子を思い浮かべて歌おう。                     </div> ・ わたしたちもCDのようなきれいな声で歌いたいな。	↑ 10 ↓	○ 星空の美しい様子をイメージすることができるようにするために、星空の様子の写真を見せるようにする。その際、「星の世界」の歌詞とも関連させ、秋の夜空の写真や、星座の写真なども見せるようにする。 ○ 本時のめあてを導き出すために、「どんなことに気を付けてこの歌を歌っていけばいいかな」と問いかけるようにする。
課題追求	3 歌詞唱し、自分たちの演奏を録音したものを聴く。 ・ 音程が正しくとれていないな。 ・ きれいな声になっていないな。 4 3で話し合ったことを基にグループで歌詞唱する。 (1) 5人全員で歌う。 (2) 1人ずつ歌い、歌声について意見を出し合う。 ・ ○○君の歌声は星空のようにきれいな声だ。 ・ △△さんは、口の開け方が少し足りないよね。	↑ 30 ↓	☆ <u>子供たちに「星空のような美しい歌声」を具体的にイメージさせるために、既習事項である姿勢、発声、発音などのポイントを、体の図を使って押さえていくようにする。</u> ★ <u>より練り上げられた演奏にするために、前の活動でイメージしたような歌声になっているか録音の演奏を聴き、話し合ってから次のグループ活動につなげるようにする。</u> ★ <u>一人一人が発声や姿勢、正しい音程に気を付けて歌えているかを子供たち同士で見取るために、一人の演奏をグループの他のメンバーで聴き、意見を出し合う活動を取り入れるようにする。</u>
相互発表・鑑賞	5 グループごとに発表する。 ・ ○班は正しい音で声がそろってました。 ・ ○班はふしの感じのちがいがよくでていました。	↓	○ 本時で学んだ美しい歌声をつくるためのポイントや、美しい声で歌う技能を次時に生かすことができるようにするために、本時の学習をワークシートにまとめさせるようにする。
まとめ	6 学習のまとめをする。 ・ きれいな声の出し方がわかりました。 ・ グループで協力して歌うことができました。	↑ 5 ↓	